

本書面は、公開用として、原告（訴えた人）を除き、実名等の表示を赤字の括弧書きで変更しています。  
人物や団体等の表記はこれまでのレポートと共通です。黒字の部分は提出した訴状そのままです。

平成 18 年（ワ）第 7 5 8 3 号 損害賠償等請求事件

原告 戸崎 貴裕

被告 （被告 A 氏名） 外 2 名

## 訴えの変更申立書

平成 18 年 7 月 日

東京地方裁判所民事 2 5 部 御中

原告 戸崎 貴裕 印

1 請求の趣旨第 3 項を次の通り変更する。

被告 C 病院は、平成 17 年 4 月 14 日から平成 17 年 6 月 24 日までの間に  
原告に対して下したいっさいの診断を無効とする旨の証明書を交付せよ。

2 変更の理由

準備書面 (3) 及び (4) で述べるとおり、当時の診断根拠が虚偽、誇張及び  
事実の隠蔽を伴う第三者の報告のみであることが明らかになったため。

以上